

広報特別委員会調査報告書

平成 21 年 12 月
広報特別委員会

1. 設置の経過

(1) 設置及び委員

① 第1期委員会

広報特別委員会は、平成18年3月2日の本会議において設置され、次の7名が選出された。

大面 一三	仲村 学	矢野 康弘
村田 正夫	末武 徹	川勝 眞一
川勝 儀昭	—	—

また、同日開催された委員会において、委員長に大面一三委員、副委員長に仲村学委員を選出した。

② 第2期委員会

平成20年3月3日の本会議において広報特別委員会委員が改選され、次の7名が選出された。

矢野 康弘	仲村 学	大面 一三
小中 昭	中川 幸朗	中井 榮樹
川勝 儀昭	—	—

また、同日開催された委員会において、委員長に矢野康弘委員、副委員長に仲村学委員を選出した。

2. 調査の経過と結果報告

①議会広報誌 市議会だより「なんたん」創刊号から第 15 号（第 16 号は平成 22 年 1 月 22 日に発行予定）の編集・発行を行った。

②議会広報誌の編集についての調査を行った。

平成 19 年 2 月 7 日 岡山県浅口市議会

平成 19 年 2 月 8 日 兵庫県丹波市議会

平成 19 年 11 月 21 日 石川内灘町議会

平成 19 年 11 月 22 日 石川内能登町議会

平成 20 年 11 月 18 日 三重県東員町議会

平成 20 年 11 月 19 日 三重県志摩市議会

平成 21 年 5 月 14 日 愛知県大治町議会

平成 21 年 5 月 15 日 愛知県豊川市議会

3. 今後の課題と方向性

①情報技術の発達に伴い、多くの情報伝達手段が確立されている。本市議会においても、インターネット環境等の進化に対応し、市民の声を直接聞く取り組みや議会の議事過程を市民に明らかにしていくシステムを構築するなど、さらなる議会広報の充実に努めていくべきである。

②今後、地方分権が進むにつれ地方議会の重要性が増し、その独立性が求められるようになる。厳しい財政状況ではあるが、紙面の効率化を図りながら、引き続き市民にわかりやすい議会だよりを発行していくべきである。

4. 委員会開催状況及び協議内容

①第1期委員会

発行号数	開催日時	内 容	発行日
1	平成 18 年 3 月 22 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 18 年 5 月 12 日
	平成 18 年 4 月 10 日 平成 18 年 4 月 11 日 平成 18 年 4 月 12 日 平成 18 年 4 月 24 日 平成 18 年 5 月 1 日	レイアウト・校正	
2	平成 18 年 6 月 27 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 18 年 7 月 28 日
	平成 18 年 7 月 3 日 平成 18 年 7 月 4 日 平成 18 年 7 月 5 日 平成 18 年 7 月 13 日 平成 18 年 7 月 18 日	レイアウト・校正	
3	平成 18 年 9 月 21 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 18 年 11 月 10 日
	平成 18 年 10 月 3 日 平成 18 年 10 月 4 日 平成 18 年 10 月 5 日 平成 18 年 10 月 12 日 平成 18 年 10 月 19 日	レイアウト・校正	
4	平成 18 年 12 月 21 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 19 年 1 月 26 日
	平成 19 年 1 月 9 日 平成 19 年 1 月 10 日 平成 19 年 1 月 15 日 平成 19 年 1 月 18 日	レイアウト・校正	
5	平成 19 年 3 月 23 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 19 年 5 月 11 日
	平成 19 年 4 月 11 日 平成 19 年 4 月 12 日 平成 19 年 4 月 20 日 平成 19 年 4 月 26 日	レイアウト・校正	

発行号数	開催日時	内 容	発行日
6	平成 19 年 6 月 14 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 19 年 7 月 27 日
	平成 19 年 6 月 29 日 平成 19 年 7 月 2 日 平成 19 年 7 月 9 日	レイアウト・校正	
7	平成 19 年 9 月 13 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 19 年 10 月 26 日
	平成 19 年 10 月 3 日 平成 19 年 10 月 4 日 平成 19 年 10 月 11 日 平成 19 年 10 月 16 日	レイアウト・校正	
8	平成 19 年 12 月 12 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 20 年 2 月 8 日
	平成 20 年 1 月 9 日 平成 20 年 1 月 10 日 平成 20 年 1 月 18 日 平成 20 年 1 月 24 日	レイアウト・校正	

②第 2 期委員会

発行号数	開催日時	内 容	発行日
9	平成 20 年 4 月 7 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 20 年 5 月 9 日
	平成 20 年 4 月 8 日 平成 20 年 4 月 10 日 平成 20 年 4 月 14 日 平成 20 年 4 月 22 日 平成 20 年 4 月 25 日	レイアウト・校正	
10	平成 20 年 6 月 10 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 20 年 7 月 25 日
	平成 20 年 7 月 1 日 平成 20 年 7 月 2 日 平成 20 年 7 月 3 日 平成 20 年 7 月 11 日 平成 20 年 7 月 14 日	レイアウト・校正	

発行号数	開催日時	内 容	発行日
11	平成 20 年 9 月 11 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 20 年 10 月 24 日
	平成 20 年 9 月 30 日 平成 20 年 10 月 1 日 平成 20 年 10 月 2 日 平成 20 年 10 月 9 日 平成 20 年 10 月 14 日	レイアウト・校正	
12	平成 21 年 1 月 19 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 21 年 2 月 13 日
	平成 21 年 1 月 20 日 平成 21 年 1 月 21 日 平成 21 年 1 月 22 日 平成 21 年 1 月 29 日 平成 21 年 2 月 2 日	レイアウト・校正	
—	平成 21 年 2 月 25 日	議会生中継について	—
13	平成 21 年 3 月 5 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 21 年 5 月 8 日
	平成 21 年 4 月 8 日 平成 21 年 4 月 9 日 平成 21 年 4 月 10 日 平成 21 年 4 月 13 日 平成 21 年 4 月 20 日 平成 21 年 4 月 22 日	レイアウト・校正	
14	平成 21 年 6 月 10 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 21 年 7 月 24 日
	平成 21 年 7 月 1 日 平成 21 年 7 月 2 日 平成 21 年 7 月 3 日 平成 21 年 7 月 10 日 平成 21 年 7 月 13 日	レイアウト・校正	
15	平成 21 年 9 月 10 日	編集日程及び 作業分担協議	平成 21 年 10 月 23 日
	平成 21 年 9 月 30 日 平成 21 年 10 月 1 日 平成 21 年 10 月 2 日 平成 21 年 10 月 8 日 平成 21 年 10 月 13 日	レイアウト・校正	

発行 号数	開催日時	内 容	発行日
16	平成 21 年 12 月 2 日	編集日程及び 作業分担協議	(予定) 平成 22 年 1 月 22 日
	(予定) 平成 21 年 12 月 17 日 平成 21 年 12 月 18 日 平成 21 年 12 月 24 日 平成 22 年 1 月 7 日	レイアウト・校正	

5. おわりに

本委員会は、平成18年3月2日に設置され、議会広報誌「市議会だより「なんたん」」の発行と諸情報に関する調査を目的に設置された。

広報第2期特別委員会は、平成20年3月3日に7名の委員構成で発足し、第1期委員会の主要活動である、議会広報誌「市議会だより「なんたん」」創刊号から第8号までの発行を踏まえ、住民の皆さんに読みやすく、わかりやすく、正確な議会情報の伝達を念頭に、議会広報誌の発行を行ってきた。

こうした中、より充実した議会広報誌を目指し、平成20年度と平成21年度に財団法人京都府市町村振興協会主催による市町村議会広報研修会に参加し、専門家による研修を受け、市議会だより「なんたん」の講評を受けたところであり、中でも特集の「南丹市の頑張る人たち」は好企画との評価を受けた。

また、広報特別委員会の管外研修として、平成20年度には三重県東員町、また志摩市に、平成21年度には愛知県大治町、また豊川市を訪問し、調査・研修を行い、こうした成果を広報誌発行に活かしてきた。

具体的には、難しい行政用語をできるだけ使用せず、写真を多く使用し、文章も標準表記を用いることとした。また特に、第15号からは表紙デザインを一新し、袖見出しをつけることとした。また、常任委員会活動報告と常任委員会での議案審査の記事内容を分けるようにし、レイアウトの見直しを行った。

また、環境負荷の低減の観点から、広報誌の印刷紙をグリーン購入法に基づく、FSC森林認証紙ミックス品(認証紙と廃材の混合)にソイインキにて印刷することに改めた。

さらに、発行予定の第16号からは、見やすい文字ということで平体文字を用いることと予定している。

また、広報誌を作るだけにとどまらず、少しでも住民の皆さんに「読んでもらえる」工夫や努力を行うべく、従来からの全戸配布に加え、市内外への通勤・通学者や観光客をターゲットにJR園部駅・八木駅・日吉駅に市議会だより「なんたん」最新号を設置していく取り組みを行った。

さらに、市内医療機関に対しては、受診者の待ち時間に、より市議会の活動に対して理解や興味をもってもらうことを目的に市内38箇所の医院・診療所に、市議会だより「なんたん」創刊号から最新号までの冊子の設置依頼を行った。

また、平成21年2月には、議会活性化対策特別委員会より本市CATVを用いた本会議の生中継化に向けた協議依頼を受け、慎重に協議を行った。その中で、開かれた議会に向けた取り組みとして、また情報公開上、議会(本会議)の生中継化の必要性

を認めるものの、時期尚早として実施については見合わせるとの結論に至った。

その理由としては、

1. 放送時間が長時間となり、逆に視聴が減る可能性がある
2. 一問一答方式導入との並行した検討が求められる
3. 人件費等の経費の問題

等が挙げられる。

なお、一般質問のインターネットによるVOD（ビデオ・オン・デマンド）実施、また、録画での現放送での時間等の見直し（議員持ち時間である20分に変更し時間内なら第二、第三質問も放送する）の検討の必要性があることを申し添え報告とした。

4年間で延べ92回の委員会を開催し、創刊号から第15までの広報誌の編集・発行などを行い、また平成22年1月22日には第16号の発行を予定している。

今後も市民に分かりやすく、透明性の高い、より親しまれる議会だよりの発行の必要性を申し上げ、広報特別委員会の報告といたします。